

石川県立羽咋高等学校創立 100 周年記念事業 募金趣意書(案)

私どもの母校は大正 12 年（1923 年）、地元の熱意を受け石川県立羽咋中学校として開校し、その 3 年後の大正 15 年（1926 年）には羽咋高等女学校が開校されました。この両校の伝統は、学制改革により昭和 23 年（1948 年）石川県立羽咋高等学校へと引き継がれ、きたる令和 4 年（2022 年）創立 100 周年を迎えます。

これまで、「自主性の確立と文武両道の実践」を掲げ、創立以来 24,000 人を超える生徒を世に送り出し、卒業生はその優れた資質・能力を開花させ、国内外を問わず各界各所で活躍しております。そして、今も羽高生が勉学と部活動に励む中で、母校が真に文武両道を実践する県内有数の進学校として今日ありますことは、私ども同窓生一同にとりましても喜びとするところです。

羽咋高等学校のこの校風を未来へと繋げるために、創立 100 周年記念事業実行委員会を組織し、協議を重ねてまいりました。羽高生がさらに勉学や部活動に励み、これからの社会で必要とされる力を身に付け、活躍していくこと、また、少子化が進む中でも、多くの中学生が入学を目指す高等学校であり続けることを願い、そして、同窓会組織及びその活動の一層の興隆も望み、次の（1）～（3）を記念事業として行うこととしました。

（1）旧同窓会館（図書館棟）改修事業（完成後、石川県に寄附）（予算 2,200 万円）

1 階ホールおよび和室の改修（内装・照明の整備、机椅子の新調、空調機器取付、視聴覚機器整備など）。同窓会記念資料展示室（仮称）の新設。

旧同窓会館改修に係る寄附金は、税控除（税制優遇）の対象となるように対応。

（2）百年史の刊行事業（予算 500 万円）

これまでの周年史を再編したものに近 10 年の歴史を加え、校史を彩るトピックスと特記記事を掲載する。A4 版上製本 350 ページ 400 冊、CD 版 600 枚を制作する。

（3）てったい基金（仮称）の創設（創設時 寄付目標金額 300 万円）

特別の事情のある生徒への経済的支援や部活動にかかわる費用の助成など、同窓会として臨時に必要となる支出のための基金を積み立て運営する。

（4）諸経費（予算 150 万円）

印刷費、送料、オンライン募金のための経費などを含む

旧同窓会館（図書館棟）の 1 階ホールは、これまで生徒の飲食や談話スペースとして使用されてきましたがそれ以外に使用することはなく、利用者も多くありませんでした。今回の改修で、授業や小規模なイベント、ミーティングにも利用できるようなホールへと改修し、生徒と教師が集い、対話し、アイデアを出しあえる場所として活用していきたいと思えます。また、同窓生の皆様にも学年同窓会の実行委員会や準備などいろいろな用途で利用していただけるようにいたします。

これらの事業を実施するにあたり、何かと出費多端の折、誠に心苦しいことではございますが、趣旨をお汲み取りいただき母校のさらなる発展と飛躍を願い、格別のご芳志を賜りますようお願い申し上げます。

令和 3 年 10 月 日

石川県立羽咋高等学校創立 100 周年記念事業実行委員会

実行委員長 轟 千栄子

石川県立羽咋高等学校

校長 釜親 徹